

## 久米地区タウンミーティング

平成24年11月20日（火曜）

【市長】 皆さんこんばんは。今日は平日の夜でございます。お仕事でお疲れの方もいらっしゃるかと思うんですがこのようにたくさんの方が集まってくまきまして、久米でのタウンミーティングが開催できますこと大変ありがたく思います。このタウンミーティングの開催に当たりましては久米公民館の安永館長さんをはじめ、役員の皆様の協力いただきました、ありがとうございました。さて、このタウンミーティングは、私が市長に就任させていただいてから始めさせていただきました。職員としては、市役所で待ってるほうが一般的と思うんですけども、そうではなくて我々のほうから出向いていくことが大切と思いました。松山市は地区の数でいいますと41の地区に分かれます。その地区ごとにタウンミーティングを開催をさせていただいて、お困りの点、課題などを私たちのほうから出向いて教えていただくということでタウンミーティングをさせていただいております。まず最初にテーマ1、魅力について話していただきます。なぜかといいますと、それぞれの地区にはそれぞれの歴史があり、特徴があり、よさがあると思います。そういうよさを生かしたまちづくりをしていくことが大事だと思っております。やはり、各地区にお住まいの方がその地区の魅力については一番よく御存じだと思います。その魅力を生かしたまちづくりをしていくと、その地区はより輝くと言えらると思っております。そうでなくて行政が主体になってまちづくりをしてしまうと、どこも同じような、金太郎あめのような地区が41できてしまう。その集合体である松山市は本当につまらないまちになってしまうと思っております。各地区の皆さんで、魅力について共通認識を持っていただくために、最初は魅力について話していただくことになっております。そしてこのタウンミーティングですけれども、いわゆるガス抜きのようなタウンミーティングではございません。完璧に台本があるようなタウンミーティング、そういうことはいたしません。我々来ておりますので、ここで答えできることはここで答えをして帰りますし、中にはすぐにお答えはできないものもございまして。例えば国と絡むもの、また県と絡むもの、そして財政的な問題があるもの。こういうものについてはいったん持ち帰らせていただいて、国に問い合わせる、また県に問い合わせる、で返事が返

ってくる、松山市としてのやり方を決めて地区に答えをお返しするということが  
すので、大体1カ月をめぐりに必ずお返事は返させていただきます。いわゆるやり  
っぱなし、聞きっぱなし、そういうことはいたしません。やりっぱなしにしない、  
聞きっぱなしにしないというのが、松山版のタウンミーティングの特徴でござい  
ます。さて、松山市の仕事というのは非常に幅広い範囲に及びます。今日は担当  
の部長、企画官、課長が来ておりますので自己紹介をいたします。

【市民部長】 皆さんこんばんは、市民部長の三好と申します。タウンミーテ  
ィングを統括しております。普段の業務といたしましては、窓口における市民サー  
ビスの提供、市民課、22支所、7出張所、市民サービスセンター、パスポート  
センター、そういったところで幅広く住民サービスを提供させていただいており  
ます。あと、男女共同参画、地域におけるまちづくり、人権啓発、そうした幅広  
い仕事をしております。今日はよろしくお願ひします。

【企画政策課長】 皆さんこんばんは、企画政策課の河合と申します。松山市の  
総合計画、新規事業、あるいは複数の部局にまたがる事業の調整を担当させてい  
ただいております。今日はどうぞよろしくお願ひします。

【都市政策課長】 皆さんこんばんは、都市政策課の白石と申します。都市整備  
部では道路、公園等の整備、維持管理を行っております。本日はどうぞよろしく  
お願ひいたします。

【生涯学習政策課長】 皆さんこんばんは、教育委員会事務局の生涯学習政策課  
長の前田と申します。教育委員会では、次代を担う人材の育成、また生涯学習の  
推進に取り組んでおります。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

【保健福祉政策課長】 皆さんこんばんは、保健福祉政策課の津野でございます。  
通常の業務といたしましては、国民健康保険とか介護保険、高齢福祉の関係、そ  
して保健所全般の業務を担当させていただいております。本日はどうぞよろしくお願ひ  
いたします。

【下水道政策課長】 皆さんこんばんは、下水道政策課の青木でございます。下  
水道部では公共下水道の整備による環境整備、下水排水路の整備による浸水対策、  
がけ崩れ防災対策などに取り組んでおります。本日は皆様のご意見よく聞いて帰  
りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

【市長】 という6人でございます。私はできるだけ皆さんと顔を合わせながら

話したいので、こうやって起立をした状態でお話をする人が多いと思います。ただ職員は、手元に細かい数字などが並んでおりますので、着座のままご説明をさせていただくと思いますがどうぞご了承ください。さて今日は大体8時半くらいまでの予定ですが、さすがに90分間肩ひじ張っておりますと疲れてきますので、どうぞさっくばらんに、肩ひじ張らずに皆様のご意見をお聞かせいただけたらと思います。皆さんといい久米のまちづくりに向けて、いい話し合いができればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

【男性】 久米地区というのは昔から、歴史と温泉のまちといわれております。それに加えて自然が結構残っているということです。温泉というのは、先週新たに再オープンいたしました温泉をはじめ4カ所あります。4種類のお湯が楽しめます。歴史的なものといえば、八十八カ所の48番札所の西林寺、49番札所の浄土寺があります。それと懸社である日尾八幡神社、ここの元宮司さんは米山（べいざん）ということで、非常に書道家として有名かと思えます。それと、久米地区は交通の便がよその地区に比べてはるかにすばらしいところだと。15分ごとの郊外電車が通っている、30分ごとにループバスが走っている、久米駅からJRの駅までに大体1時間おきにバスが走っている、それと西条、新居浜向けて郊外のバスが通っている。これだけ交通が整っているのは非常に珍しいといわれております。久米地区で一番魅力というのは、非常に教育に関心が強いということです。久米地区健全教育育成協議会が久米地区で一番大きな団体です。ここを中心に学社連携、それから久米地区学校本部支援事業もそうでしょうが、学連協という組織があります。ここのコーディネーターを中心に学校と地域とがうまく連絡し合って、総合学習に非常に役に立っていると思えます。特に中学生について、中学生がこれだけ地域のいろいろな行事に参加してくれるというのは、非常に珍しいというか誇りに思っております。非常に教育に熱心だということです。またいろいろと魅力たくさんあるかと思えますが、これはまた後の人が言ってくれると思えますのでこれくらいにしておきます。

【男性】 先ほど大体のアウトラインを言いましたので、少しいい発見を皆様にお知らせしたらと思えます。文化財だけ1つ皆さんにお知らせしたらと思えます。まず鷹子に素鷲神社がございます。その素鷲神社の拝殿の中に大絵馬がございます。これはちょうど有名なので、屋島に行かれますと、とにかく大きい写真がご

ざいます。そこの写真のあたりからこちらに流れ込んできたものかと。ちょうど素鷲神社には平家、源氏の力比への絵馬、大絵馬がございます。次に久米窪田の龍神社にも大絵馬がございます。これは富士の裾野の薪割り、源頼朝、この関係の、もう省略しますがその絵馬がございます。非常に由緒ある絵馬です。3番目、三輪田米山の36歌仙、山部赤人と柿本人麻呂、優秀な和歌を述べた36人ということです。久米窪田町龍神社、36枚ないのが残念ですが、16枚、半分くらいはございます。それと北久米の竜岡天満宮、ここにも20枚足らず米山の36歌仙がございます。4番として、何といたしても久米の人は三輪田米山です。ただ三輪田米山、米山と皆さんは言いますが、三輪田米山は、日下伯巖（くさかはくがん）藩校明教館教授、この人に3年間ほど教えを受けました。この人なくして米山は語れません。日下伯巖があるからこそ米山があるんじゃないかと思っております。日尾八幡神社はみんな行かれます、三輪田米山の鳥舞、魚躍に目が飛びますのでそればかり方向づけが行きますけど、日尾八幡には8、9割は日下伯巖の字があるわけです。そこを皆さん1つ認識してください。だから米山の書いとる日尾八幡の字は、大きな神名石それと注連石があります、その後すべて日下伯巖です。なぜ日下伯巖を取り上げるかということ、昔の人のいわゆる庄屋さんをはじめすべての人が寄付者名を書いとります。下段、中段、上段すべて日下伯巖です。裏山道の鳥居の字、あとはすべて日下伯巖が書いた、筆跡鑑定しますとそうだと思います。だから日下伯巖の勉強をして、三輪田米山も大成した。後で米山も王義之、あるいは顔真卿（がんしんけい）勉強したけど、根底には日下伯巖がある、当時は、大人と子どものような関係で相当伯巖先生が偉かった。今は立場が変わって米山がのしてきました。その4点、ぜひ松山市としても、文化財あるいは標識等の努力をしていただければと思います。最後に1点だけ、金毘羅さんの里程標、松山市ではそこしかございません。なぜそうかといいますと、普通、金毘羅街道というものは、札の辻を起点にして金毘羅街道というものです。だが、久米の里程標は、ここから札の辻へ2里となつとるわけです。松山市でそこしかございません。その5カ所、これは久米が誇れる文化財だと思います。そういう伝承よろしくお願いします。

【市長】 ありがとうございます。久米は久米官衙遺跡もありまして、文化的に高いところ、昔から栄えていたところだと言えるかと思えますけど、交通の便が

いいっていうのは、松山市の41地区、それこそ山のところも、島のところもありますので、改めてそこまで交通の便がいいのはすばらしいことだと思いますし、そして4種の温泉があるというのはまたすばらしいことだと思っております。

【男性】 窪田小学校に窪田児童クラブがあります。場所が学校から5分ほど離れた場所にあるんですけれども、2年先には、土地を借りてるんですけれども、契約切れになるのではないかと思っております。近所の方とうるさいとかいろんな面でトラブル抱えております。窪田小学校、もとは600、700児童数がいたんだと思いますが、今は400切れております。空き教室が結構あるんじゃないかと思っております。できればそちらのほうに移動が可能かどうかぜひ検討してもらえたらと思います。

【生涯学習政策課長】 教育委員会ですが、空き教室を活用しての児童クラブということですが、学校施設を教室以外で使う場合には、施設の全部もしくは一部の学校施設以外で使うということで転用するやり方、それから地域の開放教室として活用するやり方、この2つがあるわけですが、現在松山市内でも転用してやる例、それから地域開放教室として活用している例があるんですが、いずれにしても、活用計画がなくて将来的にも不要と見込まれる教室があるということ、また、今後35人学級への移行ですとか、特別支援学級、このようなものの設置増、このようなものを考慮した上で対処できるかを目安としております。ご質問として窪田小学校も空いてる教室があるのではないだろうかということですが、目的が多目的教室ですとか、少人数教室ですとか、活用する目的を持っているのでありますので、現時点においては即座に使うということは難しいと思っておりますが、将来的な児童数の推移ですとかも見ながら、関係する機関等と協議とか調整とか行うということで、今後引き続き可能性については検討してまいりたいと思っておりますのでご理解いただけたらと思います。

【市長】 すみません、私のほうから質問なんですけれど、今借りているところはもうちょっとしたら期限が来る、2年ですか、わかりました。詳細には知らないのですが、一般的にお話をさせていただきますけれども、例えば今借りているんだったら、それがうまく学校のスペースを利用できるんだったら、借りているお金を払わなくてもよくなる、学校内ということになると移動も便利、安全もいろいろないいことありますので、2年後、今度の契約のところをにらみながら、何がで

きるのかを検討させていただきたいと思います。

【女性】 私たちは今地域で、認知症になっても住み続けられるまちにこの久米地区がなってほしいと思ひまして、自分たちの地域で子どもたちに向けて、認知症になってもこういう手助けをしてくれたら楽になる、助かるっていうのを紙芝居にしまして、小学校に回らせていただいているんです。よその自治体では認知症のキッズサポーターを自治体として養成するという方向性を出して、取り組んでおられる自治体もあると聞いておりますので、そのあたり、もし今考えておられることがあるようでしたら教えていただいたら、私たちの活動の励みにもなると思いますのでよろしくをお願いします。

【市長】 わかりました。逆に私から、さっそく研究をさせていただきたいと思うんですが、認知症のサポーターはどこでやってるっていうのは御存じですか。

【女性】 キッズサポーターの場合は、大分とか愛知のどっかの市だったと、私も正確には覚えてないんですが2件くらいは聞いているんです。厚生労働省がやってるサポーター養成の実践のまとめの本が出ておひまして、それにも載っていましたので、そちらを見ると詳しくわかると思います。

【市長】 わかりました、ありがとうございます。さっそく調べさせていただきます、研究をさせていただいたらと思います。ぼちぼち手が挙がっている状況です、私から思ひを述べさせていただくと、今本当につながりのない時代になってしまいました。孤独ですとか個人とか「こ」が目立つ世の中になってしまいました。たとえば子育てのことも、久米地区さんは結構地域でという形ができているかと思うんですけれど、昔は、私の子どものころなんかいうと、よそのおじちゃんおばちゃんでも悪いことしよったら怒ってくれました。今そんなことが少なくなってきた、子育てもそうです。介護のことも、防犯のこともそうだと思います。地域でつながりがあれば、地域で子どもを育てよう、介護のほうもちょっと声かけさせていただくだけで気分も違ってくると思います。防犯のことだってそうです。こういうつながりのある時代に、松山に戻したいっていう思ひがありましていろいろ取り組みをしているんですけれど、私あんまり横文字好きじゃないんですけれど、コミュニティとかコラボレーションとかの「こ」ですね、孤独とか個人じゃなくて、コミュニティとかの「こ」にしていきたいと思ひますの

で、さっそく研究させていただきたいと思います。

【男性】 久米は17年から、子ども目線で安全を見ようということで、安全マップを現在5回目が過ぎました。ただ久米の場合は、公民館が主体でやっておりますので、危険な箇所を発見するだけじゃなくて、いいところも一緒に発見しているんですが、5回の中で必ず言われているのが、この久米小前の通学路のルートです。よく調べますと、ここ県道40号線なんです。高井から鷹子にバイパスの新しい県道40号線ができたときに、本来なら旧の県道40号線は松山市道にならなきゃいけないくて、なおかつ久米の人間にとってここは生活道路なんです。そのためにもぜひとも県道から市道に移行してほしい、そうすると、今の県道はどうしても車が優先ですけども、松山市道になれば子どもたち、地域の人々がゆくり歩ける道路になると思いますので、せっかくバイパスができたんですから、古い県道40号線は松山市道として管理していただいて、もう少し住民が動きやすい幹線道路にしてほしい。なおかつこの北のクランクのところは、久米の人は誰でも御存じの十字の変則のクランクになっております、あそこをコミュニティバスが30分に1本走るわけです、上下線でかなり交通渋滞おこしますので、そのあたり何とか行政で考えていただけたら。もちろん今、久米の中でも安全安心ネットワークという協議会をつくって、いろんな方に集まってもらって協議しておりますが、そのあたりまたバックアップしてもらえたらというお願いです。

【市長】 わかりました。私が一言触れさせていただいた後、白石課長がお答えする形ですかね、道路のことですので。まず驚きました、今松山市では子ども目線の交通安全マップの作成に努めています。今何をやっているかということ、石井東小学校をモデル校にしまして、子ども、これ大事なんです、久米は偉かったですね、平成17年からされてたんですね、敬意を表したいと思います。大人と子どもで1枚、地図渡しておくとも子どもの目線って消されてしまうんですね。子どもの目の高さで大人の目の高さって違うので、子どもが通学路歩くんですから子ども主体の安全マップつくらないといけないんです。私が金沢に視察に行ったときに、三国さんという金沢の安全マップを主体的につくった方、その方から「子どもにも1つずつ地図渡してあげてください。そうすることによって本当に危険なところがあぶりだされるので。」ということで教えていただいて、今年モデル校にして、来年全市的に子ども目線の交通安全マップを広げていこうと思っております。

ます。私知らなかったんで恥ずかしながら、久米さんには改めて敬意を表したいと思います。

【都市政策課長】 今ありました、県道から市道への移管ということですので、移管となりますと松山市道になるということですので、土地の整備ができていとか、道路の構造上問題がないとか、いろんな条件がございます。今お話をお聞きした中で、県とどのような意向があるかということも話し合いしながら、できるかどうかわかりませんが、今後、県と協議させていただきたいと思います。

【男性】 県には県道40号線を何とかしてくれと言ったんですよ。そうすると、県の立場としては、新しい県道40号線のバイパスをつくったんだから予算は新しい道のほうにつけますと、古い道はわかりませんということです。そこで松山市が引き取らなかったら、古い県道40号線はすさんだままになるわけです。なおかつ住民はその道を通るわけですよ。県と市のそれぞれの立場があるんでしょうが残されたほうはたまらない、残された道はたまらない、そのあたりは十分県と協議して、住民が動く道路をどうするかという視点で、住民目線でもう一回検討してもらえたらと。ずいぶん前の話ですので、その当時のことは誰も県も市も担当者がいないのでわからない、いろいろ調べましたけれども、そういう市としての規定があるから受けられないとなると、この前の道路はどこも修理補修をしない道路になりますので、そのあたりも含めてご検討を願ったらと思います。

【市長】 わかりました。まさにこの小学校の前の道ですね。あそこのクランクにつながっていく道ですね。さっそく県と改めて協議させていただきます。

【男性】 学校関係ですが、今、南土居町から窪田小学校行くのに県道を通らないといけないんですよ。県道が非常に交通量も多いということで、先般地域で調べて県のほうに見積もってもらおうと、1億ちょいと。家の立ち退き2軒あるんですよ、ほりゃちょっとだめやなということで、代わりとして、うちのほうに農道があるんですけど、農道をちょっと広げてぶち抜けば簡単にいくんじゃないかという提案を学校関係と話しまして、そういうことで伝えますと。農道は松山市の管轄になるんですかね、ちょっと詳しく知らないので、農道に転換しよかなっちゅう話がありますんでぜひ協力を、県道を埋め立てて家までのける何年かかるかわかりませんので、県もえらいことするなと思ってびっくりしたんですけど、代わ

りは提案してますんで、農道はどうやら松山市の管轄ですかね、よう知らないのですけど、おそらく窪田小学校からも申し入れる言うてましたんで、ぜひご協力をお願いしたいと思っています。

【都市政策課長】 今おっしゃられましたとおり、農道、水路は松山市が財産管理は行っております。ただ維持管理については、地元の改良区なり水利組合なりが管理をしております。そういうことですから、農道をさわる場合には地元、改良区さんや水利組合さんの了解が一番大切になろうと思います。

【市長】 場所を把握して帰りたいので、また後で教えていただいたら改めて認識できますので、お残りいただいたらと思います。今年、京都の通学路での不幸な事故がありましたので、改めて全部松山市内の通学路の点検をすると、夏休みに県と市と警察、そしてPTAの方々、連携して暑い中、緊急点検をしていただきました。これまでのタウンミーティングでもよく言われたんですけども、水路を埋めて道を広げてくれんかっていうのがよく言われるんですよ。私もそうだなとは思いますが、水路を使っているのは農家の方ですよ、そこにふたをされると、詰まった場合に掃除がしにくくなるとか、そういう農業の方のお考えもあると。じゃあガードレール、子どもたちが歩きよようにガードレールしてくれたら安全になるというのもあるんですけど、そうすると沿道の方々の車の出入り、駐車場が困るとか、とにかく道広げてくれたらいいんよという方もいらっしゃるんですけど、道を広げると逆にそこが脇道、抜け道になってかえってスピードが上がってしまうということがあって、総合的に判断していかないといけないというのが通学路は改めてわかりました。この間改めて指示したんですけど、夏休みに緊急点検をさせていただいたんですが、夏休みに点検したのがどうなってるのって、市民の方気になるじゃないですか、改めて指示を出しまして、各小学校に点検したところはこういうところが上がってきました、途中の段階でいいからそれを皆さんにお示しすることが必要と考えまして、冬休みの前にそれをお示しできると、冬休みに再点検することもできますので、それを指示をしております。やはりこれからの行政というのは、途中であっても説明をすることが大切ではないかと思っておりますので、指示をしておりますので、また何らかの形で皆さんに通学路の状況がお知らせできると思います。

【男性】 安心安全のこと、先ほどのことで、市長さんが言われたことが実は質

問の答だったんです。先ほどの石井東小学校、1週間ほど前ニュースで来年度から展開する、これ見ましたけど、実際、私の長男がおったときに東京から大学の先生が来られて、体育館で各校マップをしました。そのときに親と子どもたちが歩いて回った。そのときに私もはっと気がついたのが、松山市は結構カーブミラー設置してくださっているんです、管理番号までつけて、ところが子どもが車に衝突をしたと。それはなぜかといったら大人が目線でした。ドライバーが目線でカーブミラーをつけていたんです。でも子どもが壁から出てくるのに気づけなかったんです、それはなぜか。低学年の子だったからカーブミラーの下に頭があったから、カーブミラーで照らされてなかったんです。それを結局どうしたかという、その横に電信柱がありましたので、さらに1メートル上げて電柱共架というんですけど、それを今度下向きにして、鋭角に照らすようにしました。そしたら小学校2年生の子どもの頭も映りました。隅切りをしてなくて直角になっている角から子どもが出てきたときに、ゆっくりだったけど見えないから当たるですね。ボンネットの分だけ車が出ないといけないんで接触になっています。カーブミラーがあったのに何で子どもが衝突したんだろうと、映ってなかったんですよ、カーブミラーの下に身長があるから。でもそれを上にして、角度を45度に下げることによって、下を鋭角に照らすことによって子どもが映りました。たったモンキーレンチで角度を変えるだけ、それだけで終わりました。そういうのが各校マップということで、4年前につくったときにわかったので子どもたちはやっています。ちなみに久米小学校にはたぶんみんなが集まる部屋のところにそれをはっておいてあって、代々と1年生が入ったときにそれを配って、1年生の入学当時からそれを生かしてもうすでに配っていると思います。だからこのニュースを聞いたときは、うちはやってるな、久米地区だけの特別なケースだったのかなと思っておりました。最後聞いたかったのは、さっき言ったことですが、私はたまたま耳にしたんですが、雄郡小学校のほうで県警のほうもゾーン30というので、道後の地区とか整備を始めてますけれど、カラー舗装にしてあそこは電器屋さんとスーパーの大きなところでできて交差点があったんですが、竹原の電車通りに抜けるところになっててすごく危ないということで、通学路は南側の子どもたちは別の横断歩道を通って北側に回って、学校の北を通り過ぎてから学校に戻るというかぎ状の通学路になっていたということです。でもそれをカラー舗

装をして交差点を見える化すると、踏切の300メートル先から、実際私も通りましたけれど、そこが交差点になってるって見えてるんですね。それによって危険地区っていうのが認識できるし、なおかつ水路を埋め立てて転落防止柵をつくとって言ったんですけど、それでたった40センチくらいの幅ですけれども子どもたちが安全に、水路に落ちなくて通れるようになったということで、通学路を変更してちょうど直角に曲がるようにして、すごく先生たちは喜ばれとったと。これあまりニュースにはならなかったんですけど、地元ではすごく感謝されているという話も聞きました。結局そういうことで夏休み一斉点検をしたとかいうのは全国的にも言ってました。この間、緊急安全のための何億という予算を国もつけるということを言っておりました。教育委員会が主体になってするといったんですけども、まず市がやることはお金がないと言うんで、教育委員会が主体となってやるということを今年打ち出しても、本当に教育委員会に予算があるのかなというのを疑問に思いますので、そういうやったことがどういう進捗になっとなるかがわからない。特にこの久米地区はわからない、今言ったのは雄郡小学校の例ですけれども、久米では各校マップというのを4年前からやって、入学児童には配っていたということを地域ではやってました。だからそのあたりのことをもうちょっと情報開示というんですか、どんどん出していただきたい。できるできないは別としても、どうなっているのかがわからないということは、何年か先はわからないということがあるので、それを今日は特に聞きたいと思ってきたのでよろしくお願いします。

【男性】 質問ではございません、お礼を申し上げたいと思います。実は私申込みのときに、通学路の点検を同行させていただいたこともあるわけですが、その後どうなっているかの報告とか連絡がないのはいかななものか、ということで一筆書かせていただいて、参加をしたいとお出しをしたんですけども、先ほど市長さんから、冬休みまでというお話がありましたので、どうもありがとうございます。

【女性】 長女が中学に入って初めて私も実感したんですけど、久米中はマンモス校ですごく人数が多くて、1年生だけでも300人弱いるんですけど、少し大きくなりすぎて、先生方がまとめるのが非常に大変な状況がありまして、高校受験、内申のこともあってすごく窮屈な思いを、中学校っていうすごくいい時期

だと思っんですけど、子どもたちがしているような気がして、できたらもう少し人数を何とか減らせないかなと思っんですけどね。中学校を1つ建てると思ったら大変だと思っんですけど、あまりにもこの周辺の地区から久米中に子どもたちが、何でこの少子化の時代に子どもたちがたくさんいるんだらうっていうくらい、久米中に集まっているので、もう少しゆとりのある生活を子どもたちにさせてやりたいなっていうのがあります。

【市長】 わかりました。ハード面でいいますと、私からお答えをさせていただくと、今すごくご配慮いただいた発言だったと思っんです。さすがにこれから少子高齢化の中、全体的には子どもの数が少なくなっていく中で、もう1つ中学校を近くにつくるかっていうとなかなか難しいと思っます。ハード面では難しいので、だから何もできません、何もやりませんではなくて、できるとしたらソフト面での対応ができるかと思っます。生涯学習政策課長から言ってもらおうとして、私のほうでは、先ほど市のほうで教育委員会の予算が、というお話がありましたので、松山市の財政についてお話をさせていただきたいと思っます。家計と同じだと思ってください、1年に出ていくお金を歳出といいます、入ってくるお金を歳入といいますけども、松山市の場合だと1年間の歳出の中で一番大きなウエイトを占めているのが民生費、いわゆる福祉にかかるお金です。およそ40パーセントを占めています。大体どこの自治体もそうだと思っただけで結構です。その中でこの民生費が、松山市で1年だけで50億円増えたんです。この中には皆さんよく聞かれる生活保護費が含まれます。これも1年間で決算ベースで15億円増えました。我々、国と地方という言い方をしますが地方です。国では今1,000兆円、正確にいうと983兆円といわれていますけども、およそ1,000兆円の借金を抱えております。わかりやすく日本の人口を1億人とすると、1,000兆円割る1億人と考えると一人頭どれだけの借金を抱えているとあきれてしまうような数字です。私は皆さん御存じのように一市民からこの立場をいただいた人間なので、本当に1,000兆円まで借金があるまでにとめる人はいなかったのかというくらいあきれるような借金の額です。中学の勉強で出てきますけども、国から地方へは地方交付税交付金とか国庫支出金という形で地方にお金が回ってきます。でも大元の国がそれだけの借金抱えているんですから、地方に回ってくるお金が増えるとは到底考えられません。決まった中でやりくりをしてい

かなければなりません、家計と同じです。ですから、収入が増えないんだったら、例えば民生費、福祉にかかるお金が50億増えたんだったら、どっかで50億絞らなければいけないんです。生活保護費が15億円増えたならばどっかで15億円絞らないと、財政は下り坂になってしまいます。こういうふうにはタウンミーティングをさせていただいて、皆さんからいろいろ「市長こうしてほしいんよ、ああしてほしいんよ」っていう要望を言っていただきます。それはどうぞ言ってください。でも市長の人気取りから考えると、「わかりました、それしましょう」「わかりました、それもしましょう」って言ったほうが楽かもしれませぬ。でも考えてみたら、それをすると、そのときはいいかもしれないけども、将来の子どもや孫にツケを残すことにほかならないわけです。じゃあタウンミーティングなんかしないほうが楽かもしれませぬ。言っていただいて「それごめんなさい、できないんです」ってことを言わなければならないこともあります。ですのでタウンミーティングをしないほうが楽かもしれませぬけれども、でも皆さんからの声を聞かせてほしいんです。それをもとに、行政として何をすべきか考えなければならぬ。すぐにはできないかもしれないけども、優先順位をつけさせていただいてやらなければならないことからさせていただく、それがこれからの厳しい財政である地方自治体のあるべき姿だと思うので、こうやってタウンミーティングをさせていただいております。比較的松山市財政いいっていわれてますけども、そういう松山市でもこういう状態です。これを言うと大体手が挙がりにくくなるんですけども、言いましたように皆さんの声をしっかりと把握することが必要です。ですから、あんまりお金の要ることについてはいろいろ考えずに言っていただいたらと思います。よろしく申し上げます。

**【生涯学習政策課長】** 久米中学校の規模が大きくなったということですが、通学区域とか、学校の分割等々につきましては、通学区域調整審議会で審議をされることとなりますが、久米中学校がその対象になるかどうか、今日この場では私もお返答できませんので、持ち帰らせていただきまして、回答の中できちんと回答させていただきますのでご理解いただいたらと思います。

**【市長】** 今お声を聞いて現状わかりましたので、もうひとつ気をつけておきたいと思います。

**【男性】** 私ちょうど30年前にこの地区に引っ越してまいりました。そのとき、

小野川が大変汚れていました。あと支流も非常に水が汚くて悪臭がしておりました。この最近、小野川にナマズ、コイ、フナ、カヤなどがきれいな水の中で泳いでおりますし、また支流も随分きれいになりました。これは地域の人の努力もさることながら、下水道の完備が一番大きい役割ではなかったかと思います。6カ月前に、私来住町ですが下水道完備していただきました。ただ子どもが南久米におるんですが、そこはまだ届いていない、それは個人の方が進入路の地権者であったり、農道があったりということを聞いております。これは非常に大事なことです。その辺は市のほうで主体性を持って、ある程度強い姿勢で取り組んでいただければ、もっと久米地区の環境は整うと思うんですが、またその進捗状況なども教えていただけたらと思います。よろしくをお願いします。

【下水道政策課長】 下水道政策課の青木でございます。下水道整備に関しましては久米地区のほう今整備をしております。日ごろ工事については、ご迷惑かけていますけれども、ご理解とご協力をよろしくお願いいいたします。まず下水道整備の状況についてですけれども、松山市は全体で今普及率は大体60パーセントという状況です。松山市、今4つの処理場を有しております。久米地区は、中央浄化センター、南江戸に処理場がございます、このあたりの汚水を流していくということで取り組んでおります。久米地区につきましては、その中央処理区の中で全体で983ヘクタール余りがありますけれども、そのうちの人口密集地域約623ヘクタールくらいが下水道で整備をする対象地域となっております。その中で現在整備をしておりますのが303ヘクタールということで、23年度末では約半分で、まだまだ整備が必要な状況になっておりますけれども、下水道事業、非常に費用がかかるんですけれども、さらなる効率化を進めて、一日でも早く整備をできるように努めていきたいと思っておりますのでご理解をよろしくお願いいいたします。

【市長】 あのちょっと平たく述べさせていただきます。私も改めて知ったんですけど、下流から整備していくんですよね。処理場があって下流から整備していくもんですから、上流にあたるところはちょっと下水道のできるのが遅くなる形です。今度の議会で、下水道料金の値上げを皆さんにお願いをしなくてはならない事態になってきました。これはなぜかと端的にお話をさせていただくと、平成一桁の時代に、国の方針に従って下水道をどんと進めましょうということをした。

松山市もやりました。そのときに、お金借りますよね、普通の家だと高い金利のものって低い金利のものにお金ができたら借りかえるじゃないですか、それさせてくれないんですよ。例えば高い金利5パーセント以上のやたら高いものは借りかえさしてくれるようになったんですけど、4パーセントとか3パーセントのものは借りかえさせてくれないんですよ、金利負担が膨らみます。一般の家計とはちょっと考えられないようなことがあるんですよ。年間にもともとは平成一桁のときは年間に160億円を使って下水道をどんと広げていきたいと思います。でもそのペースで進めると、下水道ばかりにお金が使われてほかの事業ができなくなるのでプランを縮小しました。平成12年には半分の80億円にしました。でもそれでもきついというので平成19年には65億、ちょっと規模を縮小してます。人口の多いところは下水道、少ないところは合併処理浄化槽という2本柱で、負担の少ない形でやっております。できるだけ早く下水道を進めていきたいと思いますが、そういう状況にあるというのをご理解いただけたらと思います。ご了承ください。

【女性】 生活環境って人間環境とよく思うことがあります。おかげなことに久米公民館長ってすごい気さくな人で、誰とでも本当に親しげに声かけてくれるし、どこの草刈りのおじさんじゃろかいう格好でいつも年中おいでます。鷹子の公園が山の上にあって、本当に見晴らしのええところですけど、「公園の便所が汚い、公園の便所が汚い」って私の顔見るたんびに言われるので、町内会の副会長さんと2人でここ1年ほど週に2回ずつ交代でトイレの掃除に入ってます。いろんな方がようしよるなって褒めてくれるようになりました。初め知らなかったころは、「こんな山の上にこんな綺麗な芝生のついた公園つくって誰が来るんよ、遠いのに」と思いよったんです。掃除して入ってみたら、ついでにぐるりのごみも拾うんですけど、大きいフェンスの向こうに隠れて休憩したり、やっぱりボール遊びしたい子どもらも来ます。館長が「本当はいかんのぞ、目つぶとっちやるけん、ちっさい子どもらが来たらのいてやれよ」って声をかけてくださってるそうです。「そんなこと言うたって絶対のきゃせんわい」って思いよったんですけど、それこそいじわるのおばさんじゃないけど、「そんな遊びをしたらいかん、そこで遊ぶんはかまんけど片づけて帰れ」とか言います。うそついてみたりへ理屈こいたりするんですけどね、その子らが遊びよる後、女の子らが何人か来たらその男の子

らがじわつとのいてくれるんですよ、こっちが言わんでも。館長がちゃんとしつけをしてくれよんが生かされとんがようわかりました、公園に行ってみて。たばこの吸い殻なんか駐車場には落ちとったんやけど、たんびに拾いよったらいつの間にか、1年たったらそこに吸い殻が落ちんようになりました。続けていくことっていうのも大事やなと思ってます。ここでボール遊びももっとできたらいいのになと思ひよったら、町内会長が「違うんぞ」と。「この下に松山市の配水池ができとる。その上に公園をつくるときに、どうやってつくったらええかっていう実行委員会つくって、子どもらがはだしで上がって遊べれるような芝生のある公園をつくろや。あえてボールは入れまいや」っていうことで、町民の意見の中で公園の整備はされたそうです。それでも人は来やせんと思ひよったら、やっぱり今はやりの「イクジイ」が、夕方になると子どもを三輪車に乗せて入ってきます。そしたらやんちゃな男の子らがじわつとのきます。子どもらぎりかな思ったら、大学生くらいの兄ちゃんらが上がってきて、その芝生の上に腰をおろしてじっと空を見たりしよります。「案外この公園っていけとんやな」とすごく最近実感することがたくさん発見があるので、一回松山市の方からここを球技場として整備をしてやろじゃないかって町内会のほうに言ってこられたんです。うちの町内会長は本当に子どもが好きなんです。「子どもがはだしで上がれるような公園をどうぞこのままにしとってくださいや」というてお願いをして帰っていただきました。後でなんぞしっぺ返しに来るかもしれんけどこらえやって。野志市長そんなことしやせんけんって言うたんですけど、おかげなことに、いまだかつて何のペナルティが来てないのはありがたいなと思ってます。本当にお金がないのでろくな整備もできてなくて、今芝生もはげはげの状態なんですけども、そういう球技場としての整備をしてやるっていうお声が上がるのであれば、ここを緑のまんまの芝生で、運動会したときにお昼休みに初めて歩くか歩かんかくらいの子をそこ置いたら初めて歩いたんですよ。若いお母さんが「いや、歩いた」って言ったらおばあちゃんらがみんなが拍手してくれたんですよ。そんなまんまの公園でこれから先も置いとっていただけるような整備事業のお願いっていうか応援をしていただけるんやったらありがたいなと思うんです。掃除をして一生懸命下向いとたらなんか目線を感じるんで顔上げて見たら、その芝生の上いっぱいトンボがこっち向いてずっととどまってるんですよ。そんなところってそうないと思うんです。

せっかくのところやけんこのまんまのいい形の整備をし続けていけるようなことができたならありがたいなと思っております。

【市長】 はい、わかりました、ありがとうございます。実は、松山市全体で以前に比べますと、例えば久谷のほうの東雲短大のグラウンドがなくなりました。あとJ A共済連のグラウンドもなくなった。NHKの堀江のグラウンドもなくなった。井関の馬木のグラウンドも。時代が厳しくなって民間の会社がグラウンドを持ってなくなったという事情があります。以前はボール遊びができたところがあったんですけどなくなってきたので、各地に、使えるところは「使えないですかね」というようなお声かけをさせていただいて、無理強いをすることはありません。今やっているのが、野球やってる子、硬式野球の子は松山のチームなのに伊方町のほうまでグラウンド求めていくような状況だそうです。今、北条の法橋のグラウンドを直したり、北条の文化の森とか中央公園で、フェンスを上げて使いやすくすることをしております。場所に応じて、無理強いはしない形でやろうと思えます。

【男性】 高齢クラブとサロンの関係でお尋ねします。いずれも福祉に関係ですので、市長さんは高齢クラブの特別顧問をされていますからいろいろご苦労なさっていると思うんですが、高齢者の数は毎年増えてくるんですが、高齢クラブの会員は毎年減っております。その原因になっているのは、幾分サロンにも関係になっているのではないかな、福祉の人から、両方とも共存する道はないのかというお話があるんですけど、あるとすればお金の出どころで相談されてきちんとするか、サロンに関係する人は全部高齢クラブ員に加入していただければ解決できるのではないかと思います。何か対策があれば教えていただきたい。

【保健福祉政策課長】 松山市では現在、高齢化の進展に伴って様々な高齢者の生きがづくりとか、社会とのつながりについての施策、いろいろな活動について、また、教養を高める活動をしている中で、先ほどおっしゃられました高齢クラブとか、ふれあい・いきいきサロンというのが出てくると思います。高齢クラブ自体が地域を基盤とする高齢者の自主的な組織で、仲間づくりを通して生きがづくりと健康づくり、また、生活を豊かにするとか楽しい活動とか行いますということで、そのためには会員の皆様の今まで培ってきた知識とか経験を生かされて活動していただいていると感じております。その組織の運営とか活動につき

ましては、国とか松山市が補助金という形で支援させていただいております。もう一方のふれあい・いきいきサロンにつきましては、介護保険法の中の介護予防事業の1つのメニューとして松山市が行っております。これにつきましては、高齢者で1人でお暮らしの方とか、家の中にとじ込まれている方が積極的に地域に溶け込めるように、地域の皆さんと共同しながらレクレーション楽しんだり、自分たちが企画して介護を防いでいくとか、今の体力を持続していただく形に事業がなってます。そういう意味合いから、一見似たような感じですが、1つは自主的な組織で活動行っていたら、それに対して国とか市が支援する。もう1つは介護事業の1つとして行わせていただいているということでございますので、事業か、もしくは自主的な組織の運営、活動という形になろうかと思えます。高齢クラブの中にその会員さんが入られるのは自由だし結構だと思います。また、いきいきサロンには登録をしていただいで活動していただく、どちらにおいても地域の方が主役であります。地域の方が両方とも運営していただいでやっただくことには変わりございませんので、各地域の方々のお考えとか、地域の実情があると思えますので、お任せするような形になろうかと思えます。

【市長】 高齢クラブにしてもいきいきサロンにしても高齢の方の生きがいくくりという点では思いは一緒だと思いますので、今お困りだという点がございましたので、地元の高齢クラブといきいきサロンのことでお困りでしたら、保健福祉政策課長のほうに終わりましたらご相談、お話をさせていただいたらと思えます。具体的に聞かせていただいで対応考えさせていただこうと思えますのでよろしくお願ひします。

【男性】 宅地の開発行為についてお伺ひいたします。現在高井町に70数区画の大規模な開発工事が完了しまして既に半数、30軒余り入居されておるわけですが、工事中からいろいろな問題がおきまして、その都度町内会や土地改良区が協議しまして、と言いますのが開発行為の場所の道路一本挟んで東側が東温市ということで、開発している土地は松山市ですけど、どちらかと言えば東温市の市民との接触が多い場所です。いろんな協議をして、今現在に至っているんですけど、今現在一番問題になりますのが窪田小学校への通学路。これが一部ですね、東温市の農道、市道を使って登校する状況なんですけど、夜は真っ暗です。それで防犯灯をつけようという話が出まして、松山市側はすぐ地権者オーケーもらえ

ましてつけることができたんですけども、東温市側はなかなか地権者のオーケーがもらえません。柱を建てることができません。ということで、そういった箇所の開発行為の申請が出た場合に、公園をどうするとか、ごみ置き場をどうするとかいったハード面ばかりじゃなく、通学路といったソフト面にも申請の段階で、今回の場合でしたら東温市と協議をして、入居される方に不便をおかけすることがないようにをお願いしたいと思ひまして、一言言わせてもらいます。

【市長】 これは初めて聞く例ですね、松山市なのに東温市の道通って学校へ行く。場所の確定とか持ち帰らせていただきましょうか。

【都市政策課長】 開発する場合には、今言われましたハードについてもソフトについても協議はいたしております。東温市と松山市、また全体の中で。今言われましたように小学生が窪田小学校に行くというのは、最初から計画の中に入っている中で、安全安心で防犯灯の問題までは考えてなかったのかもわかりませんが、後から出たそういう問題点につきましては、今後、松山市以外であっても松山市民が利用されるということですから、協議等はさせていただきたいと思ひます。

【女性】 先ほどの県道のことですけど、県道は久谷のほうからずっときて西林寺通って、浄土寺のほうへ上がって、それからまた繁多寺のほう行きます。その道は私たちの生活道路でもありますし、遍路道でもあるんです。今、世界遺産に登録しようなんていう話も出てるさなかに、そういう危険な道があるっていうのは、ちょっと何とかしてほしいっていう希望は持っております。また別に、先ほどおっしゃったことにも関連するんですけども、運動公園の隣に久米公民館が平成16年から取り組んでおります里山っていう、私たちはその中で里山農園で2区画を持ちまして、皆さんと一緒に交流を図ってとても楽しんでおります。以前市長さんが民生委員の大会に出られましたときに、「市民農園で男性の方たちの出番をつくってとてもよかった」というお話をなさってました。私も、「久米のほうがもっと早くやってるよ」という気持ちがありまして、鼻高々な気持ちだったんですけども、中に入っていらっしゃる方々は、Iターンの方もいらっしやいますし、Uターンの方もいらっしやいまして、男の方たち、おじ様たちがとても仲良くわいわいにぎやかに交流してらっしゃる様子を見て、とてもうれしく思ひます。最近実はイノシシが、もうここ2、3年前からとても被害がひどいので

す。農園の持ち主さんたちはそれぞれにイノシシの柵をつくったり、自分のところから持ち寄った材料を使って、自分の農地を囲って頑張っておられます。農園の上の方は芝ヶ峠といいまして、久米の中学校の校歌にも歌われております、大変昔から親しまれた山があります。そこへずっと昔から使われている道がありますけれども、そういうところで実際に散歩する人たちが多いです。友達も散歩して、「イノシシの親子に出会ってびっくりした、とても怖かった」という話もあります。私使っております農園の、1つ置いてその隣の方が、「夏に自分ところの畑に来たらウリ坊がおったんよ」と言われました。でウリ坊がいるってことは、親のイノシシもどっかにはいたはずです。子どもを守ろうとして、どこから飛び出してくるかわからん、恐ろしい。子どもたちも、公園に来て、本当に真っ暗になるくらいまで子どもたち遊んでます。そういう中で、イノシシをのさばらせとっていいのかしらと、本当につくづく思うんです。これは本当に危険なことになるんじゃないかと思って、危惧しております。この対策を何とかしてほしいと思いますし、すぐ隣の農園の方なんかは、この夏、去年もそうでしたけれども、サツマイモを植えてたのが全部やられてしまいました。もう今お手上げの状態です。周り見回しても、かなり農園が荒れてきております。というのは、やはりもうイノシシがいるんだったら、高いお金払ってまではとてもやりたくないという、放置地というそういう状態になりつつあります。そういうところですので対策をお願いしたいと思います。

【市民部長】 今タウンミーティング回りますと、イノシシの害に遭って困ってる方、非常におられます。ただ、今のご心配は農業をやっておられる方が遭われる被害というよりも、里山といういわゆるまちづくりの活動の中でやったときに不安だということだと思いますので、そういった場合は知ってる方、猟友会の方とか、警察にお願いするとかいろいろあるんですけども、まず最初にそういう場合があったときに、農林水産課のほうが対応もしておりますので、そのあたりに相談をいただきたい。たちまち農業じゃない、人間が危ないんだということになりますと、ただちに警察、あるいは防犯協会とかに連絡していただきましたら、安全に関することについては対応できると思います。どうしてもどこかわからなかったら市民参画まちづくり課に電話していただきましたら、またいろいろ連絡もさせていただきますので。危険を感じたときは連絡してください。お願いいた

します。

【市長】 場所は、里山の埴輪のあるところですよ。場所は認識できますので、どうでしょうね。猟友会どこか御存じのところありますか、ないですよ、御存じですか。禁猟区、なるほど。

【市民部長】 たちまちですね、街中によく最近ニュースでイノシシが暴れてるときにはですね、本当に素人の方が触ったら大変ですから。

【市長】 わかりました。こちらのほうで持ち帰らせていただいて、警察のほうに相談をしてみるという形でさせていただきます。ほかいかがでしょうか。もうあの残り1問、状況によっては2問というようなところかと思うんですけども。まだ発言されてない方、いかがでしょうか。せっかく来ていただいているんで。初めての方を優先させていただいたらと思います。まだ発言されてない方、せっかく来ていただいているんでどうでしょうか。2人か3人程いらっしゃった。時間ある限りいきましょうか。皆さんをあんまり待たせても申し訳ないので、短めをお願いします。すみません、勝手言いますが。

【女性】 実は私、北久米町でも、国道11号線よりも西のほうの8区に住んでおりまして、ちょうどあの地域は今先ほどからずっと久米は交通の便がいいところ、誇れるところという話が出ているのですが、私が住んでる8区は、国道と国道に挟まれて公共交通が通っていない地域で、これで年寄りになったら、年とって足腰が弱なったら、駅まで行くのにしんどいという状況がありまして、周りを見渡すとよう似た年寄りがやっぱり8区のほうでは駅行くのがしんどい、街になかなか出れないという状況があるので、松山市のほうでも11号と33号の間は交通不便地域という認識をしていただいているので、私どもは何とか自分たちの力で足の確保、生活交通の確保をしようということで、話し合いを進めていきたいと思っているんですが、なかなか石井と久米で両地域またがるものですから、両地域の人たちと一緒に話す場というのが私どもではよう準備しないので、どこかで音頭をとっていただいて、生活の足の便を図る工夫を、住民の力でつくるということを進める、お世話役を市のほうでやっていただければ、うんといろんな工夫ができるのではないかと考えていますので、ぜひ助言というか協力というかお世話というかを行政のほうでもしていただけたら、話し合いが進んでいいなと思っておりますのでよろしくお願いします。

【市長】 わかりました。地区がまたがるというケースですね。

【都市政策課長】 今おっしゃられました、そういう話し合いの場、地区が違う場合の話し合いの場というのは可能性はあると思います。隣の石井地区もまちづくり協議会もできてますので、そういう話し合いにも参加してもらえるとと思います。

【市長】 そうですね、場所この辺なんよって教えていただいたら、また次の段階に進めると思いますんで。よろしくをお願いします。

【男性】 街路樹の下に今さつきが植わって、周りに雑草がものすごくはびこっておるんですが、観光都市松山を標榜するならば、遠来のお客さんが通る道ですから、11号線の周りは何とかならないものかと思います。この間、南国のほう行く機会がありまして、雑草が生えない対策としてこぶし大の石を敷いているところも見受けられましたが、恒久的にそういう雑草が生えないものができるか、また久米はあのサザンカのまちですから、もし大々的に改修されるなら、サザンカあたりずっと植えていただいたら都合がいいかなと思っております。

【市長】 わかりました、ありがとうございます。

【都市政策課長】 また現地この後確認させていただいて、また国のほうに話させていただきます。

【市長】 わかりました。皆さん、どこが国道で、どこが県道で、どこが市道でってわからないですよ。松山市はどうぞ道路管理課が対応窓口になりますので、道路のことでしたら道路管理課に言っていただいたら、県のことだったら、私たちのほうで県に伝えます。国のことだったら、私たちのほうで国に伝えます。これ決して縦割り行政という意味ではなくって、私たちのほうからも伝えるんですけど、一番は直接言っていただくのが一番伝わりやすい。というのが、例えばある行政に言うと、「このちっちゃいことをこうしてくれたらええだけなのに」「いやいやそんな大きいこと言よるんじゃないがな」というので、ちょっとずれるときがあるんですよ。ですので私たちのほうからも、県のことであっても、国のことであっても、私たちのほうから伝えるんですけども、それプラス皆さんのほうから直接言っていただくと、「これをこうしてもらったらええだけやけん」というのが伝わりやすいので、直接言っていただくのもまたお願いできたらと思います。今のことは必ず私たちのほうから伝えます。時刻が8時半になりました。

いろいろと、さまざま今日ご意見をいただきましてありがとうございます。現状認識ができました。ちょっと時間がなくてとか、ちょっと恥ずかしくて言えなかったという方は、松山市は市長へのわがまちメールという、直接市長にメールを松山市のホームページから送る制度がありますので、それを使っていただいても結構ですし、別にはがきでも封筒でもまたファックスでも結構ですので、お伝えいただいたら対処をさせていただきます。私常々思っておりますのは、別に市役所って敷居の高いところじゃなくって、県庁でもなくて国でもなくて、一番市民の方と近い存在であるのが市役所です。公民館、支所もまた近い存在だと思いますので、あんまり敷居の高いところだと思わずに、相談いただいたらできることもありますので、市民の皆さんの役に立つところで市役所でなければいけないと思っておりますので、またいろんな声を寄せていただいたらと思います。今日お答えできなかったものは、1カ月をめぐりに必ず地区のほうにお答えをお返しさせていただきますので、それを見ていただいてまたステップアップしていければと思っております。今日はあの寒い中、遅くまでお付き合いをいただきましてありがとうございます。個別のことでありましたら、職員たちのほうに言っていただいたらと思います。これからまたいいまちづくりのお役に立てればと思いますので、またこれからもよろしく願いいたします。今日は本当にありがとうございました。

— 了 —